

あだたら高原スキー場で スノースポーツを満喫!



さわやかな青空がゲレンデの上に広がりました。仲間と楽しむスノースポーツ、最高ですね!

あだたら高原スキー場(二本松市)で、2月5日、『スキー・スノーボード教室』を開催しました。コロナ禍の影響で2年続けて中止となっていたため、3年ぶりの開催です。スキーに29人、スノーボードに21人の合わせて50人が参加しました。

講師は「いいたてスキークラブ」の皆さんと「あだたら高原スキー学校」のインストラクターが務めました。レッスンは経験に応じたグループに分かれて行われ、それぞれコミュニケーションも楽しみながら、技術の向上に取り組みました。

北原彰さんを講師に 「花卉セミナー」を開催



「県外花卉農家から見た飯館村の花」「トルコギキョウ栽培の基本的な事」の2部構成で講演いただきました。

1月26日、村とJAふくしま未来飯館営農センターの共催により、交流センター「ふれ愛館」で、北原彰さん(宮内)を講師に『花卉セミナー』が開催されました。北原さんは、那須塩原市(栃木県)に避難後、トルコギキョウなどの花卉栽培に取り組んでおり、JA職員時代の経験や避難先での営農の苦労、花卉栽培の基礎知識などを講義され、「今後も村の農業振興に貢献したい」と話されました。参加した花卉農家の皆さんは、収量や品質の向上に向けた講話に、真剣に聞き入っていました。

大成建設株式会社から 寄附をいただきました



左から、鳴原新一長泥行政区長、杉岡村長、大成建設株式会社東北支店飯館作業所の清水義男作業所長。

2月20日、大成建設株式会社から村への寄附贈呈式を行いました。同社には、東日本大震災後から村全体の除染作業に取り組んでいただいております。これまでも、いいたて希望の里学園や道の駅までい館に寄附をいただいております。今回は、長泥地区の一部避難指示解除に向け、「長泥コミュニティセンター」に設置する電波時計2台を寄附していただきました。目録を受け取った杉岡村長は、「これまで長年、復興の基盤となる作業をしていただきました。復興事業への尽力にも重ねて感謝を述べました。」

令和4年度県原子力防災訓練 連携を強め防災技術を高める



写真は南相馬原子力災害対策センター。オフサイトセンター(緊急事態応急対策拠点施設)開設の訓練。

1月27日、『令和4年度福島県原子力防災訓練』が実施され、国・県及びいわき市・田村市・南相馬市・川俣町・広野町・楡葉町・富岡町・川内村・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村・飯館村の13市町村と防災関係機関が、実践的な訓練を行いました。訓練では、浜通りを中心とする震度6強の地震が発生し、福島第一原子力発電所で使用済み燃料貯蔵槽の水位低下が確認された事態を想定。各機関が、体制の確立、連携、緊急対応などの訓練を、緊迫感を持って行いました。

県広報コンクールで 「広報いいたて」2部門入賞!



村民の皆さんが主役の「広報いいたて」は、これから村の魅力を発信し続けます。

2月17日、『第68回福島県市町村広報コンクール』表彰式が、福島県庁で3年ぶりに行われました。本コンクールには33市町村が参加し、応募総数85点のうち入賞は19点でした。今年1月に行われた審査の結果、「広報いいたて令和4年6月号」が、広報紙(町村部)で入選、同号の表紙が広報写真(一枚写真部)で佳作に入賞しました。

「広報いいたて」の入賞は、2年連続。震災後から数えて9回目の受賞です。これからも「広報いいたて」をよろしく願います。

NTTドコモから村へ 社員募金が寄附されました



NTTドコモには、全村避難中の「村民の声ネットワークシステム」でも多大なご支援をいただきました。

2月9日、『NTTドコモ東北支社2022年度「災害復興等応援社員募金」村民の森あいの沢環境整備への寄付贈呈式』が行われました。今年度は、ドコモグループ約1万2,900人の社員の方からの募金が集まり、村への寄附は今回で3回目となりました。

式では、株式会社ドコモCS東北の高田博樹福島支店長から目録が贈呈され、村からは感謝状と村特産品を詰め合わせた記念品をお贈りしました。杉岡村長が「再生と発展のため、老朽化した施設整備に活用させていただきました」と感謝を伝えました。